

【重症患者さんの呼吸をなんとかしたい！】行うべき介入とは



重症患者さんの呼吸状態を改善するために、
腹臥位のポジショニングが注目されています。

でも、「本当に効果があるの？」「やったことがないから大変そう」など、
実際の臨床で実施する上で、悩んではいませんか？

そんな悩みに参考となる報告がアメリカから届きました。

Shelhamer らは、COVID-19 による重症呼吸不全（ARDS）の患者さんに対して、
腹臥位ポジショニングを実施し、その効果を調査しました。

その結果、腹臥位を実施することで、院内死亡率の減少や酸素化の改善を認めたのです。

この研究の素晴らしいところは、
腹臥位を多職種チームで実践するために、
職種別の役割を明確にして、それをチェックリストとして作成していることです。

下記原典では、実際のチェックリストをフリーで見ることができ参考になります。

腹臥位の導入に悩んでいる方は、
是非、ご覧ください。

Mehdi C. Shelhamer et al. Prone Positioning in Moderate to Severe Acute Respiratory Distress Syndrome Due to COVID-19: A Cohort Study and Analysis of Physiology. J Intensive Care Med. 2021 Feb; 36(2): 241–252.

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC7780273/>

この情報が皆さんの診療に役立つことを願っております。